

四国

2015.10・11・12

No.2

第92巻

平成27年11月30日発行

We Serve

The International Association Of Lions Clubs

ライオンズクラブ国際協会
336-A地区 地区誌



愛媛県 瀬戸の夕景

公式訪問を終えて

「感謝」「感動」「感激」の気持ち、心でWe Serve

ライオンズクラブ国際協会336-A地区

地区ガバナー 橋本 充好

8月1日の6リジョンの公式訪問に始まり、9月27日の9リジョンの公式訪問ですべて終了しました。公式訪問にあたっては、各リジョンのRC、ZCのお心遣いや運営の素晴らしさに感服いたしました。本当に感謝申し上げます。

さて、公式訪問にあたって、地区ガバナーからの要望事項として3点ほど重点的に話をさせていただきました。

まず、1点目は、家族会員の増強です。各クラブは会員を増強しないと会員の減少は逃れられません。高度成長期であれば、何もしないでも会員は増えました。ご存じのように今の日本は、人口の減少という時代に入りました。世の中の環境が変わったのです。会社経営でもそうでしょうが、環境の変化に対応しないと生き残っていくのは無理です。ライオンズも意識改革しないとあるいはできないと、生き残ることはできません。私も3人という会員増強を掲げていて、これも力強く推進しなければなりません。家族会員を増強し奉仕の輪を広げていくことが必要ではないでしょうか。身近にいる家族を仲間にすることはそんなに難しいことではないのではないのでしょうか。日本には儒教の精神が残っており、奥さんは家庭にいる者だと考えている方もおられるでしょうが、奥さんに外の景色に触れていただくことにより、友達も増え視野や考え方に幅がでけると思います。是非ともできるだけ奥さんと共に奉仕活動を推進いたしましょう。会費の件で問題があるという方もおられますが、家族会員が定着すれば、それぞれのクラブが知恵を出していけばいいのではないのでしょうか。

2点目は、LCIFへの献金です。献金にはクラブ単位とする20ドル、50ドル、100ドル献金があり、個人献金としてMJF 1,000ドルがあります。LCIFは創立50年を迎えようとしてい





INDEX

- 表紙2 地区ガバナー所感
2 地区ガバナー公式訪問
7 YCE 高知サマーキャンプ
14 日韓ショートステイ
16 GMT・GLT コーディネーター
の3ヵ月
18 骨髓バンク推進全国大会
20 献血併行型骨髓バンクドナー
登録会報告
22 キャビネット会議開催
23 LCIFのおもな支援の歩み
24 ライオンズクエスト
28 地区会員現況
表紙3 物故会員・突撃インタビュー
表紙4 第62回 地区年次大会ご案内



ます。ライオンズ国際協会では、日本に対し2015年7月より2018年6月までに2,520万ドルをお願いしたいとのことであり、1人当たりに割りますと1年間で約50ドルぐらいになります。ご負担になると思いますが1月に割りますと500円ぐらいです。世界中の恵まれない方や地域に奉仕を広げようではありませんか。

3点目は、感動の広がる事業の構築です。今の事業をさらに充実させることや新しい事業を企画することによりクラブが活性化します。マンネリ化した事業に新しい会員は初めてのことですし最初は馴染みませんが、だんだんと感動が薄れていきます。感動が深まり人と人の接点が大きくなる事業は、会員も楽しくなり参加も増えます。参加の少ない事業は今一度見直しをすることも必要でしょう。参加の少ない事業は仲間同士でも面白くありませんし、自分がいなくてもいいのではという思いが芽生えます。会長さん、幹事さんは活気がなければ面白くありませんので、事業に例会に動員を心がけましょう。

重点要望事項を述べさせて頂きましたが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



2015～2016年度

地区ガバナー公式訪問

地区ガバナー公式訪問を終えて

2015年 8月1日～9月27日

1 REGION

1R-RC 友澤 節男

- ◆日時 9月6日(日) 午後1時30分より
- ◆場所 伊予市 ウェルピア伊予



1R地区ガバナー公式訪問が去る9月6日(日)ウェルピア伊予に於いて、橋本地区ガバナーはじめ高知キャビネットの皆様9名と1R地区役員及び19クラブ役員関係者120名により盛大に挙行されました。我々1Rは本公式訪問を年度初めの最大の行事として捉えており、本席において本年度地区ガバナー所信表明と運営基本方針を聞き、一方クラブ会長からの意見の発表や質問をすることにより、地区ガバナーと直接話し合いができる唯一の機会であると大変楽しみにしております。

式典は、参加会員全員のスタンディングオベーションの中、橋本地区ガバナーを先頭に高知キャビネットの皆様が、颯爽と御入場され正面横整列後参加会員に向かい一礼をいただきスタートとなりました。

進行は、開会ゴングの後、公式訪問恒例の次第に沿って進み、まず来賓の地区名誉顧問宮内浩四郎様より、橋本地区ガバナー率いる高知キャビネットの活躍を期待していきますと激励があり、それに答えて橋本地区ガバナーから素晴らしい所信表明が力強くなされ、会場は割れんばかりの拍手喝采となりました。

その後、真鍋第一、川辺第二副地区ガバナーより御挨拶をいただき、引き続き下飯野キャビネット幹事、溝渕キャビネット会計、三谷地区名誉顧問LCIFコディネーター、酒井GMT・GLTコディネーター、北川ライオンズクエスト運営委員長の要望事項発表と続き、前半を終了しました。

後半は、待ちに待った地区ガバナー進行によるクラブ会長の今年度目標と抱負の発表となりました。地区ガバナー自身



が会場の真ん中に陣取り、それを囲むような配置に座った各クラブ役員との対話は、地区ガバナーの強い意気込みがクラブ会員達に吹き込まれ、大いに士気も上がりました。結びに地区ガバナー公式訪問の行事が無事終えたことに對し、高知キャビネットの皆様に感謝申し上げ、又参加いただいた19クラブの役員の皆様にもお礼申し上げ報告いたします。



2 REGION

2R-RC 近藤 晴雄

◆日時 9月5日(土) 午後1時より
◆場所 西条市 西条市総合文化会館



2015年9月5日(土)、晴天の元、午後1時から西条市総合文化会館において地区ガバナー公式訪問が開催されました。高知キャビネットからは橋本充好地区ガバナー以下9名の役員にお越し頂き、2R・17クラブからは会員98名が出席してお迎えし、盛会裏の内に大変充実した公式訪問を行う事が出来ました。

会議は、西条石鎚ライオンズクラブ高橋Lの司会で開会宣言から所定の行事を行い、不肖私RCの歓迎の挨拶、高岡祐三地区名誉顧問の激励の御言葉、そして橋本地区ガバナーより「感謝」「感動」「感激」の気持ち、心でWe Serveのスローガンに基づいたお話を賜りました。続いて真鍋第一副地区ガバナー、川辺第二副地区ガバナーよりご挨拶を頂きました。その後要望事項質疑応答に入りましたが、橋本地区ガバナーからは山田国際会長の思いも込めたご自身の力強い決意を述べて頂き、キャビネット幹事、会計、コーディネーター、各地区委員から要望事項を述べて頂きました。皆様、並々ならぬ決意を表明され、参加クラブ会長はじめクラブ役員も身が引き締まったように感じました。そのせいか、後の17クラブ会長の目標と抱負の発表も引き締まり、今期の2リジョンの活躍を期待させるものとなりました。



西条市には公式訪問に適したホテル等が無く公共施設での開催となりました。来訪者の皆様には何かと不行き届きの点があったかと存じますが、その分低料金で開催できました。最後に、今回素晴らしい会議にして頂きました2R・17クラブの皆様には心より感謝申し上げますとともに、今期、会員増強を含め活発に事業を展開していただきますようお願い申し上げます。御礼並びにご報告とさせていただきます。

末光勝幸2ZCの司会進行で、開会5分前に3RC下田の先導により地区ガバナー橋本充好様はじめ、キャビネットより9名の役員の入場、3R14クラブ(参加70名)が歓迎し、定刻に開会することができました。

開会宣言、国歌斉唱、役員紹介、クラブ紹介の後、西園寺純一地区名誉顧問の激励の挨拶があり、高知キャビネットには借りがありますとのお礼の言葉も(本来なら3Rから地区ガバナーを選出)。

地区ガバナーの挨拶では、感謝の心、感動、感激を分かち合う心の広さを感じました。

ライオンズクラブのプライドより、We Serveにプライドを持ちましょう、又3名の会員増強と、3Rは女性会員が少ないので内女性1名程度の入会を希望されておられました。

キャビネット役員、地区委員の要望事項があり、三谷智省地区名誉顧問・LCIFコーディネーターより、1人20ドルからMJFを含む50ドル献金の申し出があり、質疑応答では、地区役員の選出の件とLCIF献金問題の協議、続いて14クラブ会長の今年度の目標と抱負の発表があり、定刻で議案全て終了してすることができました。

5時より「地区ガバナーを囲む会」を



開催し、和やかな雰囲気の中にも、公式訪問では言えなかった意見も出ていたようで、主催者として嬉しく思いました。今後も3R各クラブのご指導を宜しくお願いいたします。

◆日時 9月12日(土) 午後1時30分より
◆場所 八幡浜市 八幡浜センチュリーホテルイトー



3 REGION

3R-RC 下田 義一

4 REGION

4 RIRC 多田 昌弘

- ◆日時 8月30日(日) 午前10時より
◆場所 高松市 高松国際ホテル

橋本充好地区ガバナー体制となって初めての公式訪問が8月30日(日)高松国際ホテルにて開催されました。ライオンズクラブ国際協会336-A地区4R22クラブの各メンバーが橋本充好地区ガバナーを初め真鍋隆第一副地区ガバナー、川辺信郎第二副地区ガバナー、地区キャビネットの皆様方をお迎えして様々な意見交換が行われました。多田昌弘4RIRCの開会宣言及び開会ゴング、そして歓迎の挨拶がありその後は地区ガバナー激励のことばを松前龍宗地区名誉顧問・国際会長補佐官よりいただきました。その後橋本充好地区ガバナーからの挨拶、続いて真鍋隆第一副地区ガバナー、川辺信郎第二副地区ガバナーからそれぞれ挨拶をいただきました。橋本充好地区ガバナーによる要望事項の後質疑応答に入り各クラブから活発な意見が出ました。特に会員増強については熱い議論が交わされました。続いて各クラブ会長による今年度の目標と抱負の発表がありました。ここでも多くのクラブで目標に掲げられたのが会員増強と退会防止でした。中でも最重要課題の一つである会員増強については様々な取り組み内容が報告されました。順調に新入会員を増やしているクラブもありその活動報告は各クラブ大変参考になったと思います。予定時間はあつと



う間に過ぎ大変中身の濃い地区ガバナー公式訪問となりました。質疑に丁寧な答えていただいたキャビネットの皆様、スミーズな司会進行をしていただきました藤原賢一4RIRC Aありがとうございました。多田昌弘4RIRCによる閉会宣言及び閉会ゴングの後各ゾーン毎に橋本充好地区ガバナー及びキャビネットの皆様との記念写真を撮りました。その後昼食会となりより一層の意思統一が生まれたと思います。最後に地区ガバナー公式訪問の準備をしていただきました皆様には心より感謝申し上げます。



5 REGION

5 RIRC 森崎 敏彦

- ◆日時 8月29日(土) 午後2時より
◆場所 香川県宇多津町 ホテルサンルート瀬戸大橋

5Rガバナー公式訪問を8月29日土曜日、ホテルサンルート瀬戸大橋で開催いたしました。前日には、5R地区役員委員、ホストクラブ5役、理事を含め、15名程でリハールを行い、当日の公式訪問の式次第始め、一連の流れを全員が共有することが大事でありました。

地区ガバナー公式訪問は、キャビネットの一番大事な行事です。各クラブの代表と時を同じくして杯を交わして語らう、やはりこれ程キャビネットが身近に感じられることは他にはないでしょう。

地区ガバナーの色々なお話を聞きし、私も5Rで地区ガバナーの方針を伝えなければならぬと確信しました。会員増強と同時にドロップ防止の施策が第一である。

山田實紘国際会長の方針も力強く話される中で、来年6月に福岡で開催される国際大会に5Rとしての参加を大いに期待しているとのことでした。真鍋隆第一副地区ガバナー、川辺信郎第二副地区ガバナーの晴れ舞台でもあります。全員参加の気持ちで参りたいと思います。

懇親会では、キャビネットの皆様と我々5Rの面々、大いに懇親を深め、時間が経つのが本当に早かったと思います。公式訪問を機に、今後の5R例会訪問を大いに盛り上げていきたいと思っています。



最後に、5Rの皆さんとホストクラブの坂出白峰LCの皆様感謝申し上げます。



6 REGION

6R-RC 品原 啓二

◆日時 8月1日(土) 午後1時より
◆場所 高知市 城西館



8月1日、猛暑の中、9つあるリジョンの先頭を切って6Rからの公式訪問。クラブ役員とキャビネット・地区役員全員が参加し、城西館に於いて、行われました。

会場では、3分前に会員着席。会場には6R17クラブのクラブ旗が壇上に整然と並び、国旗の両脇には、国際会長テーマ「命の尊厳と和」、橋本充好地区ガバナーの「感謝」「感動」「感激」のスローガンが掲げられ、定刻の1時、約100名の参加者が全員起立し拍手の中、6RCを先頭に、橋本地区ガバナー、真鍋第一副地区ガバナー、川辺第二副地区ガバナー、下飯野キャビネット幹事、溝渕キャビネット会計が入場し壇上に着席。緊張感と静寂の中、吉本1ZCの司会進行により整然と始まりました。

橋本地区ガバナーより、ガバナースローガン、キーワード、基本方針について説明があり、その中でも特に「会員増強は、義務ではなく、生命線である。この一年、皆さんと共に頑張っていきたい」と挨拶。それに関連して酒井コーディネーターより、会員増強特別委員会の立ち上げの要請があり、会員増強の手段として活用していただき、また、危機感をもって対処して戴きたいとの協力依頼があった。

三谷元地区ガバナーよりは、ライオンズクラブ100周年、LCIFの50周年に向け、「ライオンズクラブの心臓部であるL

CIFFへの献金増額」の協力依頼があった。ライオンズクラブは、ここ20年減少傾向にありますが、橋本地区ガバナーの会員増強への熱い思いと、真鍋第一副地区ガバナーの挨拶での「次の100年に向かって、単一クラブが地域に愛されることが一番」とのライオンズクラブへの熱い思いはクラブの活性化、牽いては「会員増強」へと、お二方の思いは各クラブ員の皆様にもよくご理解いただけた事と思います。

各クラブに於かれましては、これらに積極的に取り組んでいただき、また、地域に根差した奉仕活動にも取り組んでいただき、この一年が終える時には皆さんとガバナースローガン「感謝」「感動」「感激」を共有できることを願っています。

最後に長時間に亘る会議と懇親会までお付き合ひ戴いたクラブ役員の皆様、そして地区ガバナー及びキャビネット役員一同のご協力に厚くお礼申し上げます。



7 REGION

7R-RC 川添 清

◆日時 8月2日(日) 午後2時30分より
◆場所 南国市 グレース浜すし



8月上旬、まだ今期が始まったばかりで各クラブの会長、幹事も落ち着いていない中、地区ガバナーの公式訪問を受けた。

当日、前の時間には、第一副地区ガバナー諮問委員会も行われた。就任したばかりの会長たちには緊張と意気込みを感じた。諮問委員会はZCが主催するため、私は国際会長の方針などを話して挨拶とし、ガバナー方針などは、後の公式訪問で直接伺えば良いと思った。

私は公式訪問に対応すべく式場の設営や、ガバナーチームの接待に気を配った。

ガバナーから入場の時に水戸黄門を歌いながら入場しても良いかと問われ、「どうぞ」と答え、折角だからカラオケで伴奏をと思ったが、生憎と会場では急に設営ができなかった。私の先導で入場した地区ガバナーは「やるう」と思えばどこまゝでえやるさ」と歌いながら入場をした。あの第61回地区年次大会で就任入場した時のローアを思い出されたい、今までの緊張感が解けたような気がした。

厳粛なうちに会話は進行し、「感謝、感動、感激」のガバナーの気持ちには十分に伝わった。



またGMTコーディネーターの熱弁も各クラブに会員の増強、家族会員、女性会員の増強の必要性を感じさせた。その後、各クラブを訪問した際にも、それぞれ真剣に会員増強に取り組んでいる。その後の懇親会は香南の名物である大杯による乾杯で始まり、地区ガバナーの今期の健闘と、各クラブのこの1年が繁栄に導かれるように願って終宴した。

魂を入れたクラブ運営を「やるぞ」と心に残った。

8 REGION

8 RIRC 小林 一夫

- ◆日時 9月26日(土) 午後1時より
◆場所 徳島市 徳島ワシントンホテルプラザ



9月26日、橋本地区ガバナー及び地区キャビネットの皆様への激励・要望を受け、地区ガバナー公式訪問を終えました。

8R、全15クラブ最後の土成LC例会訪問を24日に終えた2日後でした。7月14日徳島LCから始めた例会訪問では、橋本ガバナーの「感謝」「感動」「感激」のスローガンのもと、女性を含む3名の増員、プライドのある、アクティビティの指導、実践を目的としたLC活動を、述べてきました。

LCの存在意義は「楽しい例会」と「アクティビティの実施」にあります。会員増強の為に合同例会、合同アクティビティの企画・実施、さらに各ボランティア・グループとの積極的な関わりの推進を、という思いがあります。

当然ながら、LCIF献金も、一つのアクティビティであるとの認識を説明しました。今回の諮問事項の内容・報告は、不十分とは思いますが、以後に期待したいです。

家族会員についてウィから、ファミリーへの精神は、ウィサーブに親しむチャーターメンバー等には抵抗もあると思いますが、新しいLC活動の未来を表していると思います。今、私は、家族(妻・娘)を説得中にあり、共に、家族としてのLC活動、アクティビティに参加する方法・



形を模索中です。名前だけ登録の、例会出席なし、の家族会員は大問題・明確にNOと思っています。

公式訪問は種々の提案・議論・指摘の包括、楽しい懇親会、意義の相互理解、以上をご参加の皆様のおかげをもちまして予定時間内に終えることができました。

橋本地区ガバナー及びキャビネットの皆様お疲れ様でした、ありがとうございました。これからのリーダーシップ研修会等の会合は、まさにLC会員としてのレベルアップを目指す意味を持っており、気合を入れて対応したいと思っています。以上、やや、堅苦しい文章となったかと思いますが、報告とします。

9 REGION

9 RIRC 比松 秀勝

- ◆日時 9月27日(日) 午前10時より
◆場所 徳島市 徳島ワシントンホテルプラザ



前日の8リジョンの公式訪問、懇親会が終了後、8R・9R地区役員・地区委員が橋本充好地区ガバナーはじめキャビネット役員皆様の歓迎会を開催。

明日の公式訪問最終9リジョンを残すだけとなったキャビネットの皆様のリラックスした会話で大変盛り上がりましたが、早朝よりの9リジョン公式訪問が気が気で醉えない間に、日が変わってしまいました。

9月27日8時半より、ホスト徳島眉山ライオンズクラブの中村会長はじめ、出席メンバーにて会場設営、プロトコールでの座席確認、受付など手落ちの無い様にチェック、漫然の備えて開式10時、森元幹事の司会によりRCの先導にて地区ガバナー・地区役員入場、万来の拍手で迎えをし、開会宣言及び開会ゴングで始まり、形式通りの挨拶9番目の議題、要望事項並びに質疑応答にて、橋本地区ガバナーより正会員10000名 家族会員4万人の会員増強要望が有り、下飯野キャビネット幹事からは ①クラブ資金増収 ②正会員3名増員 ③出席率の向上 ④会報誌の発行 ⑤平和ボスターの増強 ⑥会長スクール時配布DVD例会放映 ⑦地区年次大会の参加 などクラブ運営での要望がありました。

次の議題である、地区コーディネーター



及び委員長からの要望、次に各地区委員からの要望が終わって、10分の休憩を挟み再開、各クラブ会長の今年度の目標と抱負では正会員増強23名の声を中心だが10名増強の声が上がったクラブもあり心強く感じました。

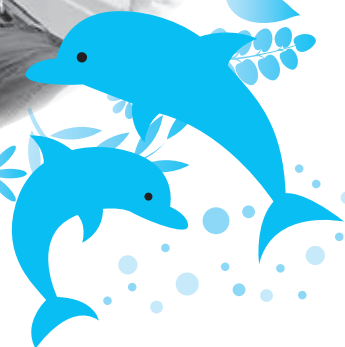
会員増強委員会の設置は90%以上のクラブが出来ており、ドロップ防止・正会員増強が全15クラブでの一番重大な問題点である事を再認識致し、最後に閉会宣言及び閉会ゴングを大きく叩き終了を告げた。

2015～2016年度

YCE 高知サマーキャンプ



YCE Kochi Summer Camp



YCE 高知サマーキャンプ 日程

7月24日 金

サマーキャンプ開所式 三翠園
国立室戸青少年自然の家へ移動
親睦会

7月25日 土

室戸岬高岡漁港からホエールウォッチング
ジオパークセンター見学、ジオパーク探索
バーベキュー、キャンプファイアー
親睦会

7月26日 日

西島園芸団地 フルーツ館散策
安芸市 内原野陶芸館 ガラス工房にて
ステンドグラス作成
親睦会

7月27日 月

高知市市長表敬訪問
高知城散策 三翠園
サマーキャンプ閉所式





開所式



ゲーム



夕食風景



YCE高知サマーキャンプ を主催して

YCE・国際関係委員長
白土 圭志

2015～2016年
度のYCE高知サマー
キャンプを、7月24日
～27日(月)3泊4日の日程
で、国立室戸青少年自然
の家に於きまして開催い
たしました。

梅雨が上がった途端に焼けるような暑さに見舞
われた高知です。およそ半年かけて計画してきたサ
マーキャンプがいよいよ始まるかと思うと、委員長
として、否応のない緊張が込み上げてきました。

今期は336-A地区だけの参加となり、ハンガ
リー1名、台湾3名、男女各2名の計4名で、動き
やすい人数でした。シカゴ出身で現在高知市在住
の通訳の方と同行していただいたことは、年齢も近
く、来日生の気持ちも和んだようでした。

初日、7月24日(金)の開所式では橋本地区カバナー
の歓迎の言葉をいただき、三翠園を後にしました。
山本哲美キャビネット副幹事のご厚意により、バス
を出していただき、その上、運転まで快くお引き受
けいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。一路、
バスは室戸青少年自然の家に向けて出発。夏休み



一日の終了式



のため混んでいて、施設の利用方法のオリエンテーションを受けるのにも時間を要し、吹奏楽部の中学生やバレーボールの合宿生といっしょに数日を過ごすことになりました。施設主催の「タベのつどい」に参加して、とまどいながらもラジオ体操やゲームを体験したあとに夕食です。大食堂で食事を済ませ、丸いテーブルで顔を見ながら、ゆっくり話をして過ごしました。なんといっても、細心の注意を払うのが体調管理です。暑さ、食事、疲れは大丈夫か心配です。また、彼らが嫌う虫が出てても対応できるよう薬もしっかり持参です。宿泊棟に戻り、今日の反省と明日の予定を話した後は、大人の疲れをよそに、カード（トランプ）を楽しむ来日生。すっかり、仲良くなりとてもリラックスした様子でした。

翌日、気持ちの良い朝を向え、「朝のつどい」に参加した後、朝食を済ませて今日はホエールウォッチングを体験します。二日目ともなると、来日生の性格がそれとなく分かってきます。私が受け入れているハンガリーからの来日生、アーコッシュは明るく、台湾からの来日生のホン君はおとなしく、リンちゃんをよく気がつき、リュウちゃんはしっかり者です。そして、通訳のガイさんは温厚です。伝達事項はガイさんにお任せし、私は名前を呼ぶこと、あとは思いつく単語を並べ、身振り手振りで表現するという、もどかしさを痛感する日々です。アーコッシュが、日本、そして高知を希望した理由のひとつに、鯨やイルカに会いたいことがありました。ホエールウォッチングをとても楽しみにしています。が、晴れ上がった天気は台風の影響は感じられませんが、波にはまだあるようで、出航できるかは漁港



Dolphin



ドルフィンセンター



に着くまで分からない状況でした。買い忘れた船酔いの薬を慌てて買って漁港に着くと、船長さんは出航の準備をしていました。鯨やイルカに会えることを願って船に乗り込みました。船酔いのひどい私ですが、引率で船に乗るのは私だけ。2時間の航海後が不安ですが、私の心配をよそに時間通りに船は港を出ました。思った以上に波は高かったのですが、若者たちは悠々と大海原を眺め、期待いっぱい表情。すると、エンジンにトラブル発生、船長が修理を始めました。エンジンを止めた船は、枯葉のように、波まかせに揺れます。わずか10分程でしたが、ホン君は酔ってしまい苦しそう。他の4人と私は、船酔いの薬が効いたのか、幸いにも平気でした。今日は残念ながら、鯨にもイルカにも会えることができませんでした。それは、予測していたことなので、昼食が終わったらイルカと触れ合えるドルフィンセンターに行くことにしました。この日の昼食は、船酔いで食べられないかも知れないと思い、予約はせずに行き当たりばったりにしていました。食堂では本人が食べたい物を選び、注文をしました。夜のミーティングで聞くと、以外にもこの時食べた「ざるそば」がすごく美味しかったそうです。

ドルフィンセンターでは、イルカに触わるために、腰から下は海水につかるのでウェットスーツに着替え、恐る恐る浸かっていました。それにしても、イルカの可愛いこといったらありません。笑ってくれているようです。とても癒されます。触ってみてどうかと尋ねると、つるつるしているそうです。大海原を泳ぐイルカとは違いますが、イルカに会えたことでは納得して欲しいです。その



室戸青少年自然の家
にてバーベキュー



BBQ



西島園芸団地にて



後は、室戸ジオパークセンターで室戸の地形を勉強し、今夜の夕食はバーベキューですので、当クラブから応援に来てくれる会員といっしょに過ごします。天気が良い中、2時間の乗船はやはり疲れたようで、日焼けもして、顔や腕が真っ赤になりました。部屋で少し休ませて、バーベキューの準備が整った頃、合流しました。たくさん召し上がれ〜！バーベキューの感想を聞くと、肉がとても美味しくて、野菜は、さすが苦手で、とうもろこしが美味しかったそうです。また、異常な盛り上がりを見せた、すいか割りの後は、場所を変えてキャンプファイヤーです。東京ドーム8個分の広さを誇る「室戸自然の家」は移動が大変。降ってきそうな星空の下、火を灯し、来日生は、ガイさんが弾くギターで母国の歌を歌い、当クラブの会員も何曲か、日本の歌を披露しました。楽しい時間は瞬く間に過ぎ、夜も更けてきましたので、そろそろお別れです。

3日目の始まりです。来日生の皆さんは時間に遅れることなく、予定通りに出発できるのには感謝します。今日は西島園芸団地とガラス工芸です。バスに乗り40分ほど走った南国市にあります。運転手さんの山本哲美キャビネット副幹事は疲れたご様子もなく、バスの中では、楽しい話をしてくださって、私達を安全に目的地まで連れて行ってくれます。本当にご苦労様です。トロピカルな雰囲気包まれた西島園芸団地では、ご主人にハウスを案内され、これから収穫時期のメロンとすでに収穫後ではありましたが、マンゴーを見せてもらいました。ウィットに飛んだ説明が魅力的でした。その後、メロンとすいかを頂いたのですが、とても甘く、みずみずし



内原野陶芸館ガラス工房にて

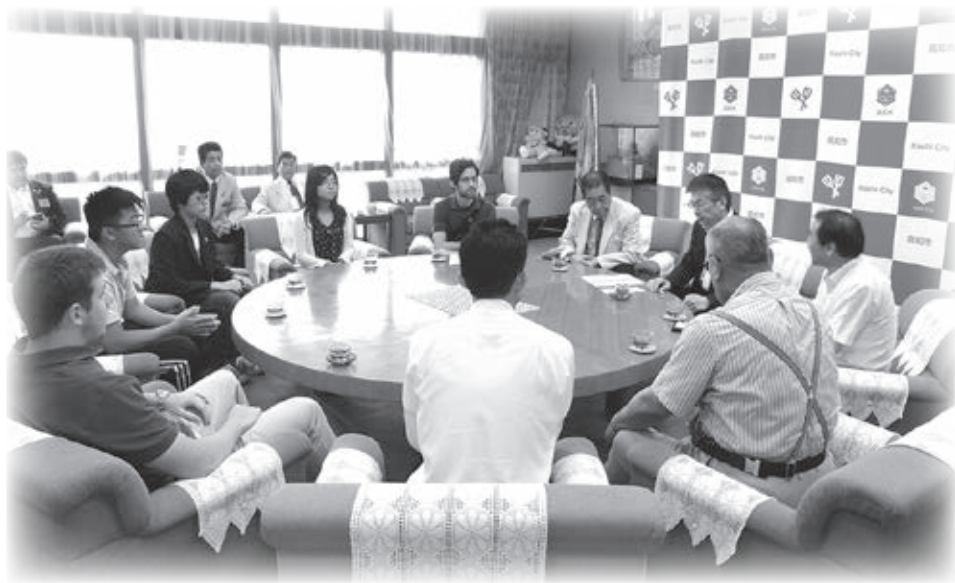


くて美味しかったです。おみやげを見たいという希望があったので、ゆつくり時間を取りました。台湾からの来日生は、ホストファミリーにおみやげを買っていました。優しいと感じました。どういう訳だか、うちのアーコッシュから私へのおみやげはありませんでした。

次に向ったのが、内原野陶芸館ガラス工房です。ガラスコップにテープが巻かれており、自分で描いたデザインをナイフでカッティングします。その後、陶芸館の方に砂を吹き付けてもらうと、デザインの部分が浮いてくるといったものです。一発勝負の緊張の時間が始まりました。来日生も引率の大人も口数は少なく、集中です。来日生は繊細なデザインをほどこし、丁寧にカットしていました。記念に残る素晴らしいコップが完成しました。

とうとう、最後の夜になりました。宿泊棟の掃除を全員でした。特にトイレは念入りにします。嫌な顔しないでみんなきちんとやりました。夕食後は、広場でフリスビーやバレーボールを楽しみました。せっかく仲良くなれたのに、明日でお別れです。みんなそんな思いを込めるように長い時間遊んでいました。日が暮れてボールが見えなくなつた頃、宿泊棟に戻り最後のミーティングを始めました。この3日間の感想を4人に話してもらいましたが、遠慮があるのか、良いことしか話しません。ガラス工芸、バーベキュー、イルカに触れ合えたことが、思い出に残ったそうです。食べる物も美味しかったです。

いよいよ、最終日の7月27日になりました。高知市長表敬訪問です。遅れる訳にはいきません。室



岡崎高知市長表敬訪問



戸を7時に出発し、順調に高知市役所に到着しました。やや緊張の面持ちで来日生は市長にご挨拶をし、今回の高知でのサマーキャンプの報告をしました。夏の『よさこい祭り』で、両手に持つて踊る「鳴子」を市長から贈られ、とても嬉しそうです。閉所式でも、皆さんりっぱに報告ができ、委員長としては大変感激をいたしました。

ホストファミリーが迎えに来てくださり、ほっとした表情をうかべる来日生。8月6日まで滞在は続きます。当クラブの受け入れは、約15年ぶりで、クラブ内にも、緊張と不安がありました。アークコッシュの人柄の良さもあり、気持ちを通じる良い関係が築けました。さすがに22日もいっしょにいると別れが辛いものです。彼にとつて心に残る思いで、できたかどうかは分かりませんが、私にとつては、ハンガリーという遠い国ではありますが、息子が一人できたような、そんな気持ちです。これからの彼の人生が幸せであることを願わずにはいられません。こんな叙しさは、ホストファミリーなら誰しも感じるのだと思います。

終わりにりましたが、開所式、閉所式の橋本地区ガバナー、そして、キャビネット役員の皆様、ホストクラブ、ホストファミリー、関係クラブの皆様、多くの方々に支えられて、事故やトラブルなく、YCE高知サマーキャンプを終えることができましたこと心より感謝申し上げます。また、今後多くの事業が控えています。高知キャビネット事務局をはじめ、1〜9リジョンの委員、そして、関係クラブの皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

日韓ショートステイ



青少年・LCIF・地域奉仕委員長 東 信喜

二〇一五年八月七日から一四日まで、高知の夏最大のイベントである高知よさこい祭りに合わせて、韓国から一〇名の大学生（男子七名、女子三名）を受け入れ、ショートステイが行われました。高知キャンネットとしては、三谷智省地区ガバナー、長谷川憲男地区ガバナーの時に続いて三回目のショートステイでした。

ホストファミリーとして、橋本充好地区ガバナー（男子四名）、酒井公一地区GM、GLTコーディネーター（女子三名）及び山本哲美副幹事（男子三名）が受け入れ態勢を整えていました。

※八月七日 午前一〇時五分高松空港到着予定の受け入れ学生一行を出迎えに、高知から山本哲美副幹事所有の二十六人乗りのバスに、橋本地区ガバナー、白土圭志YCE・国際関係委員長、東條節子副幹事それに私と韓国語通訳として吉岡薫音嬢が乗り、山本副幹事の運転で同空港へ行き、一行を迎えてまいりました。

そして、午後六時から高知キャンネットが事務局を置いている三翠園において、日韓交流ショートステイ受け入れ式が行われ、橋本地区ガバナーの挨拶の後、受け入れ学生一人ひとりの自己紹介

がありました。さすが現代の大学生らしく、何臆することなく自らを紹介し、最後は日本語で「よろしくお願いします。」と話されていました。

※八月八日 よさこい祭りの踊り子隊である「高知りようまライオンズクラブ」の踊りの練習会場である高知商工会館に、受け入れ学生全員が集合して、午前一〇時から一二時まで、同クラブ踊り子隊員に教わりながら一緒によさこい踊り練習をしました。

その後、午後二時に再び学生全員、三翠園に集合し山本副幹事運転のバスで高知市五台山にある牧野植物園に行き、世界的に有名な植物学者牧野富太郎博士の生涯を通じての功績と珍しい沢山の植物を見学されました。

そして、午後六時から高知市内の繁華街にある食事処「二本釣り」において、ホストファミリーの方々と一緒に全員で食事をし、土佐の新鮮な料理を味わいました。

※八月九日 午前一〇時から一二時まで学生全員高知商工会館において、よさこい踊り練習の練習を行い、若者は覚えが早く短時間で上達し、翌日からの踊りの本番に備えていました。

また、午後七時半から、よさこい前夜祭ということで毎年花火大会が高知市の鏡川河畔で行われており、今年も午後七時半から九時まで、連続して打ち上げられる四〇〇〇発の花火を河畔

の傍に建つ三翠園の一四階や屋上で学生たちそれぞれのホストファミリーの方々とともに観覧されました。

※八月一日、一日 よさこい祭りの本番で、踊り子隊二〇五、踊り子約一八〇〇〇人が参加し、高知市街で踊られました。学生全員「高知りょうまライオンズクラブ」の踊り子隊員となり、二日間の練習の成果を楽しそうに発揮されていました。

※八月二日 当初、幡多郡黒潮町の大方沖でのホエールウォッチングを予定していましたが、台風による波の影響でこれを変更し、山本副幹事運転のバスに学生全員が乗り、香美市土佐山田町の龍河洞（鍾乳洞）や香南市の高知県立野市動物園へ行って見物し、さらに南国市の西島園芸団地に寄り、その農園で採れたメロンなどの果物を賞味し、特に女子学生たちは大喜びでした。

※八月三日 午前九時に学生全員が三翠園に集合し、午前中、東條節子副幹事（香道、古心流師範）から香道の説明を受け、その作法に従って香木をたき、その香りを鑑賞しました。この日は香道では一般的な源氏香を楽しむ、また土佐和紙を使って、ライオンズクラブ国際会長のシンボルマークであるアネハ鶴にちなんだ折り鶴や兎の折り方を体験するとともに、お干菓子を食べながら日本茶を楽しみました。

午後には自由に市内観光をされ、午後五時に再び三翠園に集合し、橋本地区ガバナーをはじめ受け入れ式に出席された方々とともに、お別れの壮行会が行われ、午後六時から出席者全員で懇親会が開かれました。席上、学生一人ひとりから今回のショートステイについて、「ホストファミリーや出会った人たちに大変親切にして頂き、嬉しかった。」「食べ物がおいしかった。」「景色も良いし、色々な所が見られてよかった。」「また、高知へ来たい。」といった感想が述べられました。



折り紙体験



香道体験



午後八時三〇分、学生全員三翠園に集合し、見送りの人々と握手を交わして山本副幹事運転のバスに乗り、また、橋本地区ガバナー、酒井地区GMT・GLTコーディネーターが見送りのため同乗して、出発予定時刻の九時より少し前に高松空港に向かって出発されました。

私も出迎えの時と同様、高松空港までお見送りに行きたいと思いましたが、仕事の関係で行けず三翠園でのお見送りになりました。

これからの時代、国際化の進展は速く、今回のショートステイでおいでられた学生の方々も、今後多くの国々へ行かれる機会も多いであろう。しかし、見知らぬ国よりも、一度でも行き良い思い出を持つ国には、好意を抱くのは人の常ではないだろうか。国際親善の心もここ

※八月四日 帰韓の日、午前八時三〇分、学生全員三翠園に集合し、見送りの人々と握手を交わして山本副幹事運転のバスに乗り、また、橋本地区ガバナー、酒井地区GMT・GLTコーディネーターが見送りのため同乗して、出発予定時刻の九時より少し前に高松空港に向かって出発されました。

から生まれるものではないだろうか。などと思いつつ、仕事が終わるまで事務所へ帰ったことでした。



GMT・GLTコーディネーターの3ヶ月

GMT・GLTコーディネーター 酒井 公一

～GLT（グローバル会員増強チーム）～

GMT、GLTコーディネーターを拝命して3ヶ月が経ちました。コーディネーターとはどのような活動をすればよいのか明確な形がよく分からないままスタートしましたが、この3ヶ月の活動と、今後の活動内容と課題など考えて見たいと思います。

GMTとはグローバルメンバーズチーム（会員増強チーム）であり会員、家族会員、女性会員の増強を指します。今年度よりFWTファミリーウーマンチーム（家族、女性会員チーム）のコーディネーターを新設され活動しております。今年度の地区ガバナー方針で最低3名増強し内1名は女性会員の増強です。山田国際会長の目標は全国で8万名増強内4万名を家族、女性会員の増強です。336-A地区に当てはめますと家族、女性会員含めて1千名、148クラブ各10名が目標です。

私は8月1日6リジョンから9月27日の9リジョンまで地区ガバナー公式訪問に同行し各RC、ZC、各クラブの会長、役員の方に私なりの考え方で会員増強をお願いして参りました。

まずここで感じた事はリジョンにより、各クラブによって会員増強に対する考え方にかかなりの温度差があるということです。話が少し横道にそれますが公式訪問前に会員増強目標を会長さんにお願ひし公式訪問当日に回収させて頂く旨お願いをしておりました処、9リジョンの内6リジョンの方はきちっと開会前に提出して頂きました、これには感心し感謝致しました。

話を元に戻します、会員増強の必要性はクラブにより温度差はあるものの全クラブ感じております。事家族会員に付いては制度を受け入れて増強しているクラブもあればそうでないクラブもあり、かなりの温度差が感じられました。

RC、ZC、クラブ会長色々ですがはっきりと拒否反応を示しているリジョンがありました。

その原因を考えて見ますと現山田国際会長が第二副会長のおり日本の会員減少を危惧し今後の国際会議において発言権を強める意味も含め家族会員パイロットプログラム（3年間期限付き）で増強を行いました。家族会員増強を計るに当たり上部のかなり強引な発言があり各地区各クラブの受け入れ方にかかなりの違いが生じました。1～9リジョンの今後の会員増強目標を見ても家族会員増強目標が大変低いものでした。

◎低調の原因

- ①数合わせの増強では意味がない。
- ②上からの強引な増強指令では受け入れ難い。
- ③クラブ財政が潤う訳でなく運営上メリットがない。などの声が大半であった。

今後のコーディネーターの動き方としては今持っている拒否反応を如何にして解きほぐし理解をして頂くか、この事が家族会員増強に繋がる鍵を握っていると思われます。

◎現在の家族会員の意味

- ①家族会員増強は2年前と違い単なる数合わせの増強では有りません。
- ②家族の方に入会して頂き会員の皆様と一体となり色々な催し物に、アクティビティーに可能な範囲で参加をして頂きましょう。
- ③参加して頂く事により家族の絆が深まり、ライオンズに対する理解が尚一層深まる事でしょう。
- ④その結果クラブの活性化につながり、充実したクラブ運営が出来ます。
- ⑤次世代への会員増強継承になります。



今季より「退会防止及び会員増強特別委員会」の設置をお願いしたところ90%を超えるクラブが9月中に設置する」との回答があり、7月中に委員会を設置し毎月委員会を開きクラブ員全員で増強活動をされているクラブが数クラブあります。

この特別委員会を活発に行っているクラブは必ず会員増強に成功すると思います。

この特別委員会が今年度限りで終わることなく来期、来々期へと継続する事が重要だと考えます。今後はこの特別委員会を各クラブ組織委員会のトップに組み込んで永続的に続けて行かなくてはならないと考えます。下表で7月～9月の336複合地区の会員増強動向をみて頂きたいと思います、A地区は他の地区よりは断然頑張っています。

ガバナーキーワード

【入魂】で今後会員増強1000名に向かい148クラブ一丸となり頑張りましょう。必ず達成されます。

336複合地区内準地区マンスリー集計

地区	R	クラブ数	期首会員数	7月			8月			9月			期首比
				入会	退会	月末	入会	退会	月末	入会	退会	月末	
A	1	19	881	12	6	887	4	3	888	7	2	893	12
	2	17	790	6	3	793	2	6	789	7	9	787	-3
	3	14	483	16	2	497	2	2	497	0	1	496	13
	4	22	1,039	9	9	1,039	8	1	1,046	8	9	1,045	6
	5	13	789	7	3	793	3	0	796	4	4	796	7
	6	17	651	3	0	654	4	5	653	4	3	654	3
	7	16	557	15	2	570	4	2	572	3	3	572	15
	8	15	528	5	5	528	4	3	529	0	1	528	0
	9	15	473	9	8	474	8	2	480	2	0	482	9
A地区合計		148	6,191	82	38	6,235	39	24	6,250	35	32	6,253	62
B地区合計		95	3,115	55	30	3,140	17	9	3,148	9	18	3,139	24
C地区合計		96	3,178	62	45	3,195	27	26	3,196	128	11	3,313	135
D地区合計		95	3,224	46	44	3,226	39	11	3,254	108	9	3,353	129
MD合計		434	15,708	245	157	15,796	122	70	15,848	280	70	16,058	350



～ GLT (グローバル指導力育成チーム) ～

会員増強と並び次世代の人材育成は大変重要な活動の一つだと考えます。

新入会員オリエンテーション、リーダーシップ研修等は毎年行っておりますが、昨年徳島キャビネットより、もう一ランク上のリーダーの育成が始まりました、今年度も2016年3月に高知市に於いて研修会を行う予定です。地区役員、委員さん以上の養成です。会長、幹事を経験された方は次のステップとしては是非参加して頂きたいとおもいます。リジョン、ゾーン等の編成変えの考え方が出ている現在GLTは大変重要と考えます。

骨髄バンク推進全国大会に参加して

336-A 地区 環境保全・保健福祉・アラート委員長
宇都宮 博史



平成27年9月12日(土)12時30分より、高知RKCホールにおいて四国で初の「骨髄バンク推進全国大会2015 in 高知」が開催されました。第1部式典では、来賓の尾崎正直高知県知事の祝辞の後、日本骨髄バンク齋藤英彦理事長よりの主催者挨拶、小寺良尚副理事長よりの事業報告などがありました。ライオンズ関連としては、ドナー登録説明員が23名在籍し、高知県で初めて「ドナー休暇制度」を会員所属の22企業が導入し、又今年6月には民間団体としては全国で初めて「高知黒潮LC提供ドナー助成基金」を設立した高知黒潮LC、クラブ員数名が説明員資格を持ち年に6〜7回以上クラブ主催の献血併行型登録会を開催している高知桜LC、高知アイバンク副理事長を務める傍ら、



土佐山田LCで唯一の説明員として様々な献血併行型ドナー登録会を企画活動

されている川添清7R・R・C、に対し、感謝状が贈呈されました。

又特筆すべきは、高知大学野球部で活躍中、血液疾患を発症し、その後、骨髄移植を受けられ現在教職に就かれている戸田浩司さんと発症中の2005年に「骨髄バンク8万人登録運動」を関係者の方々と共に始められた土佐高校の坂本隆先生、この運動はその後全国的にドナー登録への大きな流れとなりましたが、そのお二人が表彰された事が印象に残りました。

第2部は「移植が必要な血液病と移植療法」というテーマで高知大学医学部血液・呼吸器内科の谷口亜裕子先生の非常にわかりやすい丁寧な講演があり、第2題として看護の立場から高知大学医学部看護士の松本由美さんから「移植患者の看護」という講演の後、質疑応答の場もありました。

第3部はアトラクションとして土佐女子高校合唱部のすばらしい歌声を聴いた後、提供ドナーと骨髄移植経験者の体験談を聴きましたが、特に移植を受けられた女性が御主人と伴に登壇し

涙ながらにドナーへのお礼の言葉を述べられていたのが非常に印象に残りました。

次に自らもドナー登録をし、長年にわたり骨髄バンクへの支援活動を行っている高知ファイティングドッグスの藤川球児投手が登場し、戸田浩司さんとトークを抜けました。パンフレットのプログラムには載っていなかったもので、うれしいサプライズとなりました。最後に感想を述べさせていただければ、LC関係者100名余りと伴に高知学園短大120名・龍馬看護ふくし専門学校121名・近森病院付属看護専門学校46名・開成専門学校13名・土佐女子高校30名の若者が来てくれ、非常に活気のある大会になったように思われます。高知県骨髄バンク推進協議会の依光聖一会長が感慨深げに閉会の挨拶をされ、閉会后ドナー登録会が開かれましたが、たくさんの方々に登録していただき大変有難い気持ちとなり、会場を後にしました。



高知県ＬＣの骨髄バンク支援活動

高知県骨髄バンク推進協議会 会長

高知黒潮ライオンズクラブ

依光 聖一



「日本骨髄バンク」は1991年12月に設立された。92年4月、骨髄バンクの支援を目的に県下全ＬＣが母体となり、「高知県骨髄バンク推進協議会（以下協議会）」を設立した。以来、県下全クラブ員より100円／月の継続的な寄付により協議会の運営がされている。協議会は毎年県下各地で骨髄移植講演会を開催、県民への啓発とともにドナー登録会による登録推進を行っている。今年の講演会は日本骨髄バンクの「骨髄バンク推進全国大会2015 in 高知」と共催で9月12日、高知RKCホールで行われた。

平成26年度の骨髄バンクの資料では、全国15都道府県でＬＣ担当の登録会が行われているが、そのなかでも本県のＬＣ担当登録会数は33回で247人の登録を得、貢献度は全国1位で

ある。09年高知黒潮ＬＣの説明員資格取得と集団登録会、10年献血併行型登録会、11年土佐山田・南国・高知桜ＬＣの説明員資格取得、12年献血ルームでの定期的な登録会など、ＬＣの活動が年ごとに拡充し効果を上げている。

骨髄提供には平均4泊5日の入院に加え、健診などで計10日前後の欠勤を要し、個人的な経済的損失もあり得る。しかし、バンクは休業補償などの支給はできない。そこで、ドナーの方が提供し易い社会的環境整備にも取り組んでいる。08年高知黒潮ＬＣはクラブ員の22事業所が「ドナー休暇制度」を導入した。また11年、新潟県加茂市で始まった自治体によるドナー助成制度が徐々に拡大、現在21都道府県で106自治体が散在的に制定しているが、県下での導入はまだない。15年6月、ドナーの方の経済的負担の軽減を図るため「高知黒潮ＬＣ骨髄・末梢血幹細胞提供ドナー助成基金」が創設され、県下でバンクを通じて提供された方に一律7万円を贈呈することを決めた。資金はクラブ員のドネーションで賄うとしている。民間での助成制度は全国初で、マスコミを通じて全国に発信された。

今後ともＬＣにふさわしい、力量にあった最大限の活動を行っていききたい。



献血併行型骨髄バンクドナー登録会報告

人びとの善意をつなぐライオンズクラブの活動

献血併行型骨髄バンクドナー登録会

6R-11Z 高知桜ライオンズクラブ 会長 野村美代子

高知桜LC

当クラブでは、2011年から献血併行型の骨髄バンクドナー登録会を開催しています。実施するためには説明員資格が必須のため、当初は高知黒潮ライオンズクラブさん

から説明員の派遣協力をいただき、その後メンバー4名が説明員資格を取得し、自クラブで開催できるようになりました。

説明員は、献血の待ち時間を利用して骨髄・末梢血幹細胞の採取方法や採取後の経過、ドナー登録をして患者さんに届くまでの流れを説明します。

登録希望者からは献血とは別に白血球の型を調べるため2mlを採血します。

街頭でも実施していますが、以前からクラブメンバーの事業所が献血サポーター登録をしており、工務店さんではたくましい職人さんが、専門学校では若い学生さんたち、病院では医師・看護師の方々に、今では毎回献血とドナー登録にご協力いただいています。

このような環境にめぐまれ、委員長中心にドナー登録会を続けて参りました今年9月、高知県で開催された「骨髄バンク推進全国大会」に於いて、感謝状を拝受することとなり思いがけないご褒美に、メンバー一同この活動の重要さを再認識するとともに身の引き締まる思いであります。

移植を必要とする患者さんに対して、まだまだ登録者が少ない状況だ

と聞きます。

もし自分が…また自分の家族が患者だったら…胸が締め付けられる思いです。

人びとの善意をお届けして、1人でも多くの患者さんが元気になりましように、これからも献血およびドナー登録への呼びかけを推進したいと考えています。



三豊LC

献血併行型骨髓バンクドナー登録会実施に関する報告書

5R-2Z 三豊ライオンズクラブ

保健福祉・地域奉仕委員会

委員長 宮下 剛

先日の八月二十六日、高松西ライオンズクラブ骨髓バンク支援支部様の御支援のもとに三豊ライオンズクラブでは初めての試みである献血併行型骨髓バンクドナー登録会を実施いたしました。

私自身、初めて経験する大役の保健福祉・地域奉仕委員長に加えて、三豊LCでも初めての併行型骨髓バンクドナー登録会です。

説明用デスクの配置位置から一連の流れなど全く分からず正直、不安から逃げ出したい気持ちになりました。

しかし皆さんから心強いサポートを頂き、何とか次回に繋げられる形で終われる事ができました。

今回、私は知りませんでした。香川県は全国的に骨髓ドナー数が少ない地域と教えて頂きました。



逆を返せば登録数が多い地域をお手本に向上しやすい地域とも考えられます。

だからこそ骨髓バンクの広報活動を更に推進し、骨髓バンクの認知度及びドナー登録者数を献血活動の中で併行して今後、少しでも向上できればと考えております。

高松西LC

骨髓バンク支援活動報告

4R-2Z 高松西ライオンズクラブ

高松西骨髓バンク支援支部 朝田 雪香



我が高松西ライオンズクラブは6年前より骨髓バンクへの支援活動を行ってまいりました。具体的な活動内容は献血をして頂く際に同時に骨髓バンクのドナー登録をして頂けるよう声掛けをする。といった簡単な活動から始まりました。

昨年、改めて骨髓バンク地区普及広報員の方から講義を受け全国でも骨髓ドナー登録率が低いという香川県の現状、骨髓バンクドナー登録会をする際に必要な説明員が不足しているなどの問題点を知りました。これをきっかけにクラブ員が骨髓バンク説明員の講習を受け、ドナー登録会の機会を増やす事にしました。

そして、よりその支援の充実を図る

為に、医師、骨髓バンク地区普及広報員、骨髓バンク説明員などで構成された「高松西骨髓バンク支援支部」を本年、認証40周年記念式典時の5月に結成設立しました。

「骨髓バンク支援支部」の主な活動は、毎月、4～5回ほどの献血ルームオリープでの骨髓バンクドナー登録会と月に数回ほどの献血バスでの献血併行型のドナー登録会です。他には、日本赤十字病院、香川県立中央病院、香川大学医学部病院などへ、患者さんの慰問に伺いました。また、骨髓バンクコーディネーターさんのご協力により骨髓ドナーさんの退院時のお見舞いもさせて頂いています。

今後の活動予定は今までの活動に加え、骨髓バンク普及支援映画の上映なども予定しています。

今回、三豊ライオンズクラブ様の声掛けにより実現した献血併行型のドナー登録会も大変に充実した成果を上げることが出来ました。この様な機会が増えることにより骨髓ドナー登録率が上がることを願います。

まだまだ多くの患者さんがおられます。一人でも多くの患者さんを救うために骨髓バンクの支援をして参ります。

伊野LC

日高村における献血推進活動

6R-2Z 伊野ライオンズクラブ 会長 竹本 範雄

2015年8月23日(日)

日高村保健センター

伊野ライオンズクラブは「いの町」「日高村」の2町村を中心とした地域にて社会奉仕活動を行っております。今回は、「日高村」に於ける献血推進活動について紹介致します。日高村役場が献血推進活動に資金援助・職員の派遣等積極的に支援しています。又、日高村献血推進会が活動の母体となり、各地域に推進員を十数名配置して各個人に献血を呼び掛けています。このように「日高村」は行政と民間が一体となり献血推進活動に取り組んでいます。毎年8月に日本テレビが実施放送している24時間テレビに「日高村社会福祉協議会」が参加しており今年も8月23日(日)に日高村保健センターで献血と骨髄ドナー登録会(高知黒潮ライオンズクラブ主催)を実施しました。当日は日高村献血推進会の会長他数名の推進員と日高村役場の職員が支援活動を行った。献血者には日高村役場提供の品物と献血者の承認頂いた方には「広報日高」に掲載されます。今年も多くの方の参加を頂き良好な結果でありました。



キャビネット会議が開催されました

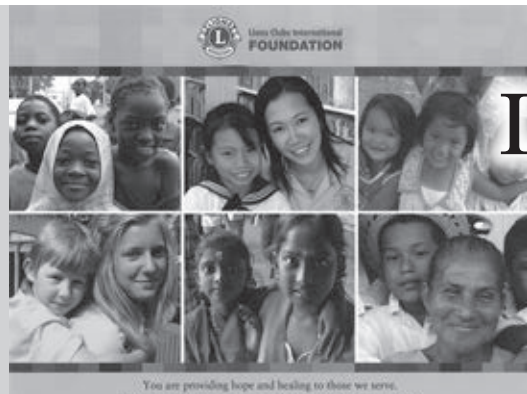
- 第1回 7月19日(日)
- 第2回 11月8日(日)

高知市 三翠園

第1回は地区ガバナーの運営基本方針の周知、説明、質疑などを中心に進められ地区役員等出席者の意思統一が図られました。
第2回は336-A地区の現状及び今後の日程、地区年次大会の詳細、地区ガバナーの思い、国際会長の意向など、報告や協議が熱心に行われました。



【地区名誉顧問会議】 第1回 7月18日(土) 第2回 11月7日(土) 高知市三翠園にて開催されました。



LCIFのおもな支援の歩み

元地区ガバナー・地区名誉顧問
LCIF コーディネーター
三谷 智省



ライオンズクラブ国際財団 (LCIF) は、1968年より人々に貢献する地域及び世界規模の事業に十億ドル近い交付金を提供し、ライオンズの活動を支援しています。

視力保護、はしかとの闘い、災害救援、青少年育成、地域社会の改善に対する財団の取り組みは、世界で増え続ける支援要請に応えるために着実に強化されています。

2018年とそれ以降に向けて、LCIFはライオンズとそのパートナーが地域社会においてさらに大型の事業を実施し、世界各地の弱い立場の人々を支援し、数々の自然災害に対応できるように、かつてない規模の交付金を提供します。

LCIFの主な活動

◆1970年代

財団初の災害交付金として、5,000ドルがアメリカ・サウスダコタ州の洪水被害救援に交付されました。又メルビン・ジョーンズ・フェローシッププログラムが、LCIFへの1,000ドルの寄付者を表彰するために創設されました。

◆1980年代

ライオンズクエストの前身であるライフスキル・プログラム支援を開始しました。このプログラムは現在までに世界中の1,300万人の学生に実施されています。

◆1990年代

医療が不十分な地域での眼科医療を改善する為に、視力ファースト交付金が始まりました。このプログラムは、20年間で3,000万人を超える人々の失明や視力障害の予防に貢献してきました。

又中南米とアフリカにおける河川失明症とトラコーマとの闘いに向けてカーターセンターとの提携を開始しました。

四大交付金糖尿病プログラムの導入により、糖尿病事業への交付金提供を開始、今までに220万ドル超が交付されています。

◆2000年代

LCIFとスペシャルオリンピックスはオープニングアイズ・プログラムを開始し、33万人超の選手に視力検査を行い14万4,000個の眼鏡を提供しました。

LCIFとライオンズは、東南アジアの津波、米国のハリケーン・カトリーナ、中国・ハイチ・日本の巨大地震に対する災害救援と復興支援のために総額5,000万ドルを調達しました。

LCIFとジョンソン・エンド・ジョンソン・ビジョンケアの協力により、サイト・フォー・キッズ・プログラムを通じて2,000万人を超える子供たちに視力検査を実施しました。

LCIF、ライオンズ、ビル&メリンダ・ゲイツ財団は、アフリカとアジア全域での予防接種キャンペーン支援する、はしか&風疹イニシアチブに1,500万ドルを提供しました。

LCIFは、はしかと風疹対策として、2018年までにさらに3,000万ドルを調達することを約束しました。



ライオンズクエスト ワークショップ



第七回 ライフスキル教育プログラム 坂出ワークショップ

ライオンズクエスト特別委員

橋村 隆文

9月5日・9月12日の二日間、坂出市勤労センターで「第七回ライフスキル教育プログラム坂出ワークショップ（公募型）」を開催しました。今回はプログラム対象である学校の先生方が参加しやすいように配慮した結果、開催日をこれまでの二日連続の土日開催から、二週に分けての土曜日開催を試験的に実施いたしました。

今回の開催にあたっては、5R-1ゾーン、2ゾーン全クラブに出向き「ライフスキル教育プログラム」の概要や現況をお伝えする機会を持ちました。またクラブ内の委員会においても、全委員が3チームに分かれて坂出市内の小学校、中学校、高校に開催案内のため訪問いたしました。

その結果、例年に比べて熱心な受講者が集まり、このライフスキル教育プログラム推進を進めていく上で、大きな力になるようなご縁と知恵をいただくことができました。

◎参加先生方の感想

「学級経営や仲間づくり、道徳の授業などに活かせる内容ばかりだった」「多くの先生に使ってもらいたい教材」「学級担任をしている若い先生に参加してもらいたい」「教職員以外の方の意見も聞けて良かった」

◎教職員以外の参加者の感想

「ライオンズクラブにとどまらず水平展開が必要では?」「子どもたちに論理的思考を身につけさせ、具体的な解決をさせる素晴らしい内容だ」「大人にも身につけて欲しい内容」……

今回私自身もこのワークショップ開催を通じてとても大きな学びを得る事ができました。大変基本的な事ですが、一歩一歩身近なところから理解と協力を得られる関係を結んでいく事。そしてそこで出来上がった関係を土台として、構築、継続、リレーしていく事が大事を成し遂げていく道であり与えられた役割責任を全うすることにつながると教えられました。

これからも、今回の経験成果を糧にして、ライフスキル教育の普及に努めてまいりたいと思います。どうか、これまで以上の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。



2015 土佐LC ライオンズクエストワーク ショップの取り組みについて

ライオンズクエスト特別委員
吉村 政男

土佐LCでは本年度5回目となるLQWSを8月20日(木)・21日(金)の2日間開催し、今回で土佐市内、小中学校205名中149名の先生方が修了証書を受け取りました。

今年も例年の通り、2日間のカンズメ研修を校長より言われししぶに参加した先生もいましたが終了時には活きいきとして「2学期から早速使っていきたい」「他校の先生方との2日間の研修は初めてで今後の活動に役立ちます」との感想もあり喜んでいきます。

近年また不登校児童生徒の増加、特に低年齢化に危惧しています。

ライオンズクエスト、ライフスキルプログラムを体験され、子ども達に「生きる力」を身に付けさせ、不登校にならない、不登校児童生徒を作らない学校環境を目指して欲しいと思っています。

149名の先生方が学校を超えて市内全域の児童生徒を見守る体制づくりが整いつつあると感じています。それはワークショップを開催する一つの意義でもあると確信しています。



◎感想文から

「学級担任として、学級経営を行う中で、生徒の生きる力を育む意識で日々取り組んではいましたが今までの指導の中にはライフスキルという概念が全くなかった。今回のワークショップで学んだ沢山のことで、ライフスキルという概念が早速教育現場で生かせると考えました。」

「2日間を通して私自身がライフスキルの有効さを感じることができた。次はこれらを教師として子ども達に伝えていくことが使命だと思う。今回収穫した学びを学級で生かし、子ども達のライフスキルを高めていきたいと思う。」

「少し緊張気味の1日目の朝でした。これから2日間がどのように進むのか、参加者全員が不安でいっぱいだったと思います。しかし、研修には、和やかな雰囲気の中で研修が進められるしかけがいろいろありました。緻密に組まれた研修レベルと北山先生の場合、一つの方向に向かわせるテクニクにより、会場には一体感が生まれていました。校種も職種も、年齢も異なる27名が、心を開放して研修に臨みました。今回ではほぼ全員の教員がワークショップに参加しました。教員全員で学校として今後のカリキュラムづくりに生かしていく所存です。」

2015年 高知ワークショップを終えて

ライオンズクエスト特別委員
齊藤 明子

2015年8月22日(土)・23日(日)の2日間、ちより街テラス3階会議室(高知市知寄町)において、公募型ワークショップを開催しました。336-A地区キャビネットと青少年育成支援フォーラムの支援のもと、高知とさみずきライオンズクラブのアクティビティとして開催いたしました。また、今回も高知県教育委員会と高知市教育委員会の後援をいただきました。参加者は、教諭4名、教育関係者3名(カウンセラー1名・指導員1名・大学生1名)、ライオンズクラブメンバー1名の合計23名でした。

ワークショップ初日・2日目とも、会場設営を開始1時間前から行い、受付・会場準備・お茶・お菓子・コピー・昼食弁当の準備を高知とさみずきライオンズクラブメンバー6名が担当しました。会場撤去・荷物運搬作業・荷物発送も役割分担してスムーズに片付けを終えることができました。また、高知鏡川ライオンズクラブからは支援金協力があり、土佐清水中学校の教員2名の参加も協力いただきました。



今回の受講者の職種は、小・中・高校の教員が少なかったのですが、様々な教員関係者(フリースクール代表・就労継続支援員・指導員・学校事務・看護教員)が多く参加しました。学校従事者以外は、研修などの機会が少ないために、今回の研修がとても貴重な内容で、事前に興味をもつて参加した方が多かったこともひとつの特長です。研修後の感想も、「各々の現場ですぐに活用したい」「仲間を広めたい」「保護者に話をしたい」「研修を引き続き受講したい」などの熱心な声がたくさんありました。研修後も北山講師の指導の依頼があり、次回のライオンズクエストの開催を待ち望んでいる受講生がいて、クエストの現場での必要性を感じた次第です。

2015年 鳴門ワークショップを終えて

ライオンズクエスト特別委員長

春木 扶佐子

鳴門ライオンズクラブは、8月18日19日に鳴門市消防署において北山講師をお招きして第6回目のライオンズクエスト「ライフスキル教育」ワークショップを開催しました。当クラブでは2010年よりクエスト事業に取り組んできました。修了者数も117名になります。夏休みの開催を希望する学校が多いのですが、出張や行事と重なってスケジュールが合わないで毎年、ひやひやの連続です。ご協力いただいております他クラブの皆さまや時間を割いてご参加いただける先生方のためにも決して中止になることのないようにとメンバーが教育長や校長会に説明に行ったり、学校訪問を継続しております。その苦勞も修了した先生から届く感想を見て、やはり継続して良かった、これからも続けなければと強く思います。

今回のワークショップに参加した小学校教諭の感想をご紹介します。

「これまで悩んだりしてきたことへの答えが見つかった気がした。自分を責めてよりつらい考え方を選択していた子どものことを思い出し、このような手立てをとっていたら何か少しでもあの子が生きやすくなるための力になったかもしれない...と考えた。これまで出会った子どもたちの顔が思い出された。あの子たち。今はどうしているのだろう。前よりも楽に楽しく生きることができているだろうか。算数や国語などの成績、そういう「学力」を高めるだけでなく通信教育やPCでの学習が効果的なことも多いと思う。しかし、学校で人の中で学ぶ目的は、社会に

出てからも人と関わりながら充実した生活を送っていくことのできる力「ライフスキル」を身に付けていくところにもあると思う。今回のワークショップでは、わたしが持つて欲しいと思う力を子どもたち自らの主体的な活動の中で身に付けていく具体的な方策とその大切さを知る大変ありがたい機会であった。この機会をこれからの教師生活の中で、いや自分個人の生活の中でも役立てていきたいと思う。」

このようにワークショップを受けた先生方の教師自身のライフスキルが向上し、生徒にかける言葉も前向きになり、直面する問題を解決するための支援ができるようになる。又、授業を受けた子どもたちが、何かの壁にぶつかったとき、立ち止まり、小さな気づきや獲得した力を生かせることで困難を乗り越えられるようになる。一見遠回りに見える事業ですが必ず、将来を担う子どもたちの健全育成につながると信じています。

今後は修了者の学校を訪問して市を巻き込んでクエストの風を吹かせたいと思います。開講式にご臨席いただきました川辺信郎第二副地区ガバナーを始めとする皆さまのご協力、ありがとうございました。



ライオンズクエスト説明員研修会・ 地区ライオンズクエスト関係者 勉強会に参加して

ライオンズクエスト特別委員

野間 典子

7月12日(日)東京でLQ説明員対象の研修会と、地区LQ関係者勉強会が開催され、全国から説明員32名、関係者26名が集まりました。3361A地区特別委員会からは、説明員の春木委員長と野間の2名、LQ関係者として眞鍋委員が参加しました。2013年8月に富山で開催されたLQフォーラムの2日目に開催された研修から2年振りです。

午前中は両者揃って、エネジャイザーの紹介や、LQを紹介する際の表現方法やキーワードを具体的に提示され、今後新しい展開が期待できそうです。午後からは部屋を別にし、説明員はグループワークをしました。日頃それぞれの地区でLQの普及に携わっている方々ばかりなので、発表される模擬授業のアイデアが豊富でした。別室の関係者勉強会では、四大交付金の申請の仕方や地区での普及活動の方法、説明員との連携についての説明があったようです。関係者も体系的に勉強できるよい機会だったと思います。

なお、LION誌10月号にも紹介されていましたが、JLYDが編集した『ライフスキル入門』(風人社刊¥1200)が刊行されました。LQに関わる方々がそれぞれの立場で執筆され、『ライフスキル』や『LQ』が本場にお勧めします。

第2回

ライオンズクエストフォーラム
全国大会に参加して

ライオンズクエスト特別委員長

春木 扶佐子

TOCHIGI

ライオンズクラブ国際協会333-B地区（栃木県）333-C地区（千葉県）主催で第2回ライオンズクエストフォーラム全国大会が栃木県佐野市で開催され、特別委員会より2名で参加してきました。全国各地から総勢約490名のライオンズメンバーや教職員、教育関係者が集まりました。主催地区より、普及活動を実施してきた過程について発表がありました。「ライオンズクエストプログラムの啓蒙、育成こそ肝要」と双方のガバナーの意見が一致。相互訪問を実施し、それぞれの地区のメンバーが粘り強く活動してきたこと、委員会を重ねて情報共有してきたことによって継続できたと話されていました。その後、佐野日本大学中等教育学校の中学1年生から4年生（高校1年生）の4学年14クラスが一斉に公開授業を実施。実際に子どもたちがライオンズクエストの授業を受けている様子を見学できる機会はなかなかありませんので大変貴重な時間となりました。

又、授業実施者である先生方と授業を受けた生徒たちと参加者の意見交換会もあり、実践の生の声を聞くことができた貴重な経験でした。導入後、自主性が育ち積極的な姿勢を持つ生徒が多くなったと成果を話されており、改めてこの事業の大切さを体感できました。

2日目は「ライオンズクエスト学校導入から現在まで」と題して佐野日大中等教育学校の八下田久美子先生が、ライオンズクエストを導入するところから現在までの経緯、授業計画、取り組み方、授業風景など細かく発表されました。導入による学校や生徒たちの変化は、参加者にとっても参考になるお話でした。6年間一貫教育であるため、入学から卒業まで同じメンバーで学校生活を送っていくことになる。そのために入学当初のファーストステージにおいては、よい集団づくりを目的としたライフスキル教育や宿泊学習を実施している、クラスの中が居心地が良いこと、それが実りある学校生活を送るための土台。その土台作りの核をなしてくれるのがこのライオンズクエストであると考え、これからもしっかりと取り組んでまいります。と力強く話されておりました。そのあと、認定上級講師の佐渡涼子先生がファシリテーターとなり、参加者全員がグループに分かれ、前日の公開授業の内容や感想を意見交換。その後、「今どきの青少年」「私たち大人ができること」についてブレインストーミングで意見を出し合い、それらをもとに「ライフス

キル教育を地域に紹介しよう」というテーマのポスターを各グループで作成しました。最後に完成したポスターを発表し合い、ライフスキル教育の必要性和ライオンズクエストが目指す「学校・家庭・地域」の連携を再確認しました。

今回の大会は今後の普及につなげる大きなヒントと知識を得ることができました。青少年健全育成にかける熱い思いが伝わる素晴らしい大会でした。



336-A地区会員現況

(2015年7月1日～2015年9月末)

R	Z	クラブ名	期首	前月末	入会	退会	当月末	家族 会員
1	1	松山ホスト	31	33	2	0	35	0
		久万	21	22	0	0	22	0
		松山東	51	53	0	1	52	0
		砥部	49	50	0	0	50	11
		松山つばき	53	52	1	0	53	17
		松山城山	38	38	0	0	38	0
	2	松山道後	56	56	0	0	56	0
		伊予	48	48	0	0	48	0
		松山西	75	74	0	0	74	26
		松前	20	20	0	0	20	0
		松山北	41	39	0	0	39	0
		松山湯築	65	66	0	1	65	30
	3	松山城東	22	22	0	0	22	0
		北条	17	19	0	0	19	0
		松山中央	112	112	2	0	114	1
		松山南	37	40	0	0	40	0
		東温	30	29	0	0	29	10
		松山金亀	47	47	0	0	47	6
R 小計		881	888	7	2	893	106	
2	1	新居浜	53	53	6	0	59	2
		新居浜中央	34	33	0	1	32	9
		新居浜別子	35	34	0	1	33	5
		新居浜ひうち	32	32	1	0	33	1
	2	今治	71	72	0	0	72	15
		今治中央	58	58	0	0	58	6
		今治東	55	56	0	0	56	2
		今治くるしま	48	48	0	2	46	0
	3	伊予三島	37	38	0	0	38	0
		川之江	63	62	0	2	60	15
		伊予土居	67	69	0	0	69	34
		四国中央法皇	39	39	0	0	39	0
	4	川之江中央	28	28	0	1	27	0
		西条	61	61	0	1	60	11
		東予	33	33	0	0	33	0
		伊予小松	12	12	0	1	11	0
R 小計		790	789	7	9	787	127	
3	1	大洲	46	45	0	1	44	0
		宇和	47	47	0	0	47	2
		伊予長浜	13	13	0	0	13	0
		内子	50	53	0	0	53	18
		野村	21	21	0	0	21	2
	2	八幡浜	41	41	0	0	41	0
		三瓶	17	16	0	0	16	2
		伊方	40	40	0	0	40	3
		保内	37	37	0	0	37	10
		八幡浜みなと	40	42	0	0	42	0
	3	宇和島	29	36	0	0	36	3
		伊予吉田	28	30	0	0	30	0
		南宇和	38	38	0	0	38	2
		鬼北	36	38	0	0	38	10
R 小計		483	497	0	1	496	52	

R	Z	クラブ名	期首	前月末	入会	退会	当月末	家族 会員		
4	1	高松	41	42	0	0	42	0		
		小豆島	43	43	1	0	44	8		
		小豆島東	32	31	0	0	31	0		
		高松葵	25	25	0	0	25	0		
		高松南	19	17	0	0	17	1		
	2	高松東	34	31	0	0	31	5		
		高松西	40	42	0	1	41	6		
		直島	27	27	0	2	25	0		
		八栗	48	48	0	0	48	20		
		高松源平	35	35	0	0	35	7		
	3	高松中央	48	48	0	0	48	24		
		東かがわ	49	48	2	0	50	12		
		長尾	81	81	1	0	82	30		
		志度	77	77	0	0	77	27		
		三木さぬき	48	51	1	0	52	21		
	4	高松グリーン	20	20	0	0	20	0		
		高松玉藻	53	57	0	0	57	19		
		高松栗林	96	98	0	1	97	47		
		高松屋島	72	72	0	0	72	20		
		高松紫雲	71	71	1	4	68	21		
	5	1	高松空港	44	45	0	1	44	11	
			高松北	36	37	2	0	39	9	
R 小計			1,039	1,046	8	9	1,045	288		
2			丸亀	114	115	1	0	116	30	
			坂出	59	61	1	0	62	15	
		坂出白峰	113	113	0	0	113	58		
		綾歌郡	19	20	0	0	20	7		
		丸亀京極	71	73	2	0	75	22		
		うたづ	50	48	0	0	48	11		
		坂出シニア	55	55	0	0	55	21		
3		観音寺	43	45	0	2	43	13		
		善通寺	44	44	0	0	44	7		
		多度津	63	64	0	0	64	22		
		三豊	50	50	0	2	48	0		
		こんびら	67	67	0	0	67	26		
6		1	観音寺中央	41	41	0	0	41	17	
			R 小計		789	796	4	4	796	249
			2	高知	51	53	0	0	53	13
				高知柏	57	57	2	0	59	11
				高知東	74	74	0	0	74	37
		高知北		47	47	1	0	48	15	
		高知桜		57	57	0	0	57	22	
	高知とさみずき	15		15	0	0	15	4		
	須崎	38		38	0	1	37	0		
	土佐	49		48	0	1	47	0		
	伊野	25		25	0	1	24	3		
	佐川越知	27		27	0	0	27	5		
	3	中土佐	27	27	0	0	27	3		
		四万十	50	50	0	0	50	5		
		土佐清水	49	49	1	0	50	5		
		宿毛	23	24	0	0	24	0		
		窪川	15	14	0	0	14	0		
	7	1	大方	27	28	0	0	28	5	
			大正	20	20	0	0	20	0	
			R 小計		651	653	4	3	654	128

R	Z	クラブ名	期首	前月末	入会	退会	当月末	家族 会員
7	1	高知鷹城	52	54	1	0	55	9
		室戸	29	29	1	1	29	3
		高知鏡川	38	39	0	0	39	3
		高知南	35	35	0	0	35	0
		高知よさこい	47	48	0	0	48	10
		土佐国府	20	20	0	1	19	0
	2	高知黒潮	57	60	0	0	60	0
		高知桂	52	52	0	0	52	3
		高知中央	50	50	0	0	50	15
		高知安芸	33	33	0	0	33	3
		高知りょうま	45	49	0	0	49	16
	3	土佐山田	14	14	1	0	15	1
		土佐本山	25	27	0	0	27	8
		南国	26	27	0	1	26	0
		土佐香南	29	30	0	0	30	0
		大豊	5	5	0	0	5	0
R 小計			557	572	3	3	572	71
8	1	徳島	22	22	0	0	22	0
		小松島	22	23	0	0	23	3
		阿南	44	44	0	0	44	9
		徳島南	24	24	0	1	23	0
		阿波勝浦	23	24	0	0	24	0
		徳島マリニピア	44	46	0	0	46	0
		徳島すだち	82	81	0	0	81	0
		徳島シニア	13	11	0	0	11	0
	2	徳島中央	30	30	0	0	30	6
		石井	47	48	0	0	48	24
		徳島城山	51	49	0	0	49	15
		上板	37	37	0	0	37	0
		徳島吉野川	36	36	0	0	36	0
		土成	30	31	0	0	31	0
R 小計			528	529	0	1	528	58
9	1	徳島眉山	28	32	1	0	33	0
		鳴門	44	45	0	0	45	9
		藍住	36	36	0	0	36	6
		板野	65	65	0	0	65	28
		松茂徳島空港	20	15	0	0	15	0
		鳴門西	30	30	0	0	30	0
		北島	47	46	0	0	46	0
	2	阿波池田	30	30	0	0	30	0
		脇	38	41	0	0	41	1
		三加茂	18	18	0	0	18	0
	3	徳島西	20	21	0	0	21	11
		鴨島	24	24	0	0	24	0
		阿波	24	27	1	0	28	0
		神山	19	20	0	0	20	0
R 小計			473	480	2	0	482	55
336-A			会員異動					
R	Z	クラブ名	期首	前月末	入会	退会	当月末	家族 会員数
合計			6,191	6,250	35	32	6,253	1,134



① 城 久美子 (67歳)
② 8R-1Z 阿南
③ 2014年6月1日
④ 2015年8月3日



① 大平 保利 (68歳)
② 5R-2Z 三豊
③ 2009年12月3日
④ 2015年7月31日



① 田口 光伸 (54歳)
② 1R-1Z 松山城山
③ 2000年10月5日
④ 2015年6月18日



① 相引 利夫 (97歳)
② 2R-3Z 伊予土居
③ 1975年10月28日
④ 2015年6月15日



① 奥村 充城 (71歳)
② 4R-4Z 高松紫雲
③ 1991年2月13日
④ 2015年9月2日



① 鎌田伊勢男 (91歳)
② 7R-2Z 高知桂
③ 1978年8月14日
④ 2015年8月20日



① 碓井 良和 (73歳)
② 2R-1Z 新居浜
③ 1996年10月
④ 2015年8月18日



① 横山 明行 (85歳)
② 6R-2Z 土佐
③ 1997年8月20日
④ 2015年8月17日



① 漆原 幸一 (76歳)
② 5R-2Z こんぴら
③ 1989年7月13日
④ 2015年10月21日



① 八井田一男 (92歳)
② 7R-3Z 土佐山田
③ 1952年12月10日
④ 2015年10月13日



① 西原 英雄 (78歳)
② 7R-1Z 土佐国府
③ 2004年4月1日
④ 2015年9月29日



① 荒木 勉 (93歳)
② 2R-4Z 伊予小松
③ 1984年5月23日
④ 2015年9月22日



① 近藤 清 (90歳)
② 5R-1Z 坂出
③ 1960年4月1日
④ 2015年10月26日

物故会員

11月15日現在でご確認できた方を掲載しています。

慎んでお悔やみ申し上げます

① 氏名・享年 ② LC名 ③ 入会年月日 ④ 没年月日

(2015年6月15日～10月26日)



突撃インタビュー

— 下飯野 幹事編 —

高知キャビネット開設から4ヶ月になりますが当初と今で、地区ガバナーに変化は見えましたか？

公務が多いためか、話術は冴え渡り人々の気持ちを掴んでいるとおもいます。
少しお疲れのように見えますが、バイタリティー溢れる行動力は一段と力強いと思います。

幹事として今後の展望をお聞かせください。

会員増強、LCIF、年次大会参加要請、福岡国際大会参加要請の四大目標を、いかに実現していくかが今後の課題です。

ズバリ 地区ガバナーってどんな人？

人の気持ちがわかり、やさしく接して、人を楽しくさせる人だと思います。

編集後記

徳島キャビネットから高知キャビネットに引き継いで4ヵ月程になりました。
まだまだ、初めての事に突き当たって、立ち止まり、考える事ばかりです。

今回の地区誌は、地区ガバナーが柱にしている会員増強とLCIFのページをアクティブティ記事と違った構成にしてみました。

オヤっと思っていたけれど幸いです。

(地区誌編集委員長 酒井陽典)



[第62回] ライオンズクラブ国際協会336-A地区

地区年次大会

大会スローガン

地区ガバナースローガン

キーワード

黒潮の 熱き心で ウィサーブ

「感謝」「感動」「感激」の気持ち、心でWe Serve
「入魂」

大会参加ご案内

第62回地区年次大会は「黒潮踊る情熱の街・高知市」で開催します。太平洋に向かって大きく翼を拡げ、自然の恵みあふれる黒潮の壮大な流れを受け取る南国土佐。「感謝」の熱い思いを込め、「感動」「感激」に満ちあふれる年次大会を創り上げます。情熱あふれる橋本地区ガバナーを支え、6R7R高知県下全クラブ一丸となって、黒潮のような熱い心でお迎えします。

四国の皆様は大きなひとつの家族やき! 高知で待ちゆうきね!

2016年4月17日(日)

■指名選挙会

登録/7:30~8:50 投票/8:00~9:00
高知県立県民文化ホール(グリーン)

■代議員分科会

登録/9:00~9:30 分科会/9:30~10:30

◇第1分科会 〈高知県立県民文化ホール(グリーン)〉
GMT・GLT・家族及び女性・会則・プロトコール委員会
/PR・ライオンズ情報・大会参加委員会

◇第2分科会 〈三翠園(富士の間)〉
青少年・LCIF・地域奉仕委員会/環境保全・保健福祉・アラート委員会/
ライオンズクエスト運営委員会/ライオンズレオ特別委員会

◇第3分科会 〈三翠園(桜の間)〉
YCE・国際関係委員会

■代議員総会

登録/10:00~11:00
総会/11:00~12:00
高知県立県民文化ホール(オレンジ)

■大会式典

登録/11:00~13:00
式典/13:00~14:50
高知県立県民文化ホール(オレンジ・グリーン)

■ガバナー晩餐会 15:30~ 三翠園

[大会登録料] ◆L 10,000円(家族会員も同額) ◆同伴 8,000円

昼食会場 三翠園
12:00~13:00

◆高知県立県民文化ホール
住所/高知県高知市本町4-3-30
TEL/(088)824-5321

◆三翠園
住所/高知県高知市鷹匠町1-3-35
TEL/(088)822-0131

2016年4月16日(土)

■地区年次大会前夜祭【日韓親善国際交流の夕べ】/18:30~ 城西館

住所/〒780-0901 高知県高知市上町2-5-34
TEL/(088)875-0111 FAX/(088)824-0557
登録料/10,000円



■記念ゴルフ大会/7:00スタート

※登録料/5,000円(プレーフィーは各自清算)

土佐カントリークラブ

住所/〒781-5622
高知県香南市夜須町手結山668
TEL/(0887)55-2131



Kochi黒潮カントリークラブ

住所/〒781-5703
高知県安芸郡芸西村西分甲5207
TEL/(0887)33-4455



■記念講演【安藤桃子さん(日本映画監督)】/14:00~15:30

高知県立県民文化ホール(グリーン)

住所/〒780-0870 高知県高知市本町4丁目3-30
TEL/(088)824-5321 FAX/(088)875-2003
登録料/無料 家族会員および一般の皆さん



©Ittetsu Matsuoka

●プロフィール

1982年東京生まれ。ニューヨークで映画作りを学び、監督助手として働く。2010年4月、監督・脚本を務めたデビュー作『カケラ』が、多数の海外映画祭に出品、国内外で高い評価を得る。
2014年高知に移住。2014年10月映画『0.5ミリ』を高知市城西公園内で全国に先駆け上映、ロングランを記録。



2015~2016年
ライオンズクラブ国際協会
336-A地区 高知キャビネット事務局

We Serve

〒780-0862
高知県高知市鷹匠町1-3-35 三翠園13F
TEL 088-823-5552 FAX 088-823-5518
E-mail kochicab@bird.ocn.ne.jp